

(第6条関係)
事業計画書

事業名	食安の会事業
団体名	NPO 心障サロン安心庵

1. どのような地域課題を解決し

たいのか、その現状や背景などについても含めて記載してください。

各地域には、精神障害者に対する様々な就労支援センターがあり、社会復帰に向けての支援が行われていますが、成人した青少年にとってひきこもりが長期化した場合、30代、40代で就労しようとしても、目的意志を持ちにくく、社会復帰の第一歩がなかなか踏み出せない、もしくは、就職しても続かず、ひきこもりを繰り返し再就職がなかなかできない、という課題が残っているのが現状です。私たちの団体が就労支援を行おうとした際、面談をしてみると、ひきこもりが長期化していると、なかなか外出しにくくなるため、近所にある手頃な食料品店などで、安い惣菜や菓子パンや菓子類を選びがちの生活となり、次第に偏食する傾向が強くなる人たちが多くことに気付きました。病院食に様々な食事改善が取り入れられているように、身心ともに健全であるためには、安全な食事とり、健康の回復に必要な栄養のバランスを整え健全な食生活を取り戻すことができるような支援が必要と考えました。

そこで、当団体では、保護者と当事者を対象にした「食安の会」を開催いたします。このとき、専門医と管理栄養士の助言の下、健康回復のために脳に補足する必要がある栄養素を取り入れたメニューを開発し、無添加・保存料未使用の調味料、そして有機野菜や米を使用することで食の安全を維持します。食事改善会では、①安全な食についての知識習得、②自炊をし、日常の食生活の改善が可能になるような内容といたします。

2. 事業を行うことでどのようなことを達成したいのか、どのような成果があるのか、成果目標を記載して下さい。(事業を実施した場合に得られる成果目標は、数値を用いて簡潔に記載して下さい。)

まず、保護者や受講者が安全な食と必要な栄養素についての知識を得、ひきこもり中でも調理ができるようになることを目指します。それにより、ひきこもりが長期化した食生活環境が少しでも改善され、心身共に健康的に社会復帰・就労ができるような成果を期待しています。主な達成事項は下記のとおりです。

- ・食事会の開催 (年4回数)
- ・食事会の開催地の数 (3地域と新規1地域)
- ・レシピの数 (四季毎に各1-2点 (主菜・副菜含む))

* () 内は目標数値。

3. 事業内容を具体的に記載して下さい。

・事業内容

私たちは、「食」と「職」の関係性を見つめていきます。地産地消（地元で食料とエネルギーの循環）を尊重し、絆（食事を共に・イベント文化によって生まれる連帯感）が生まれることを期待しています。そのような絆を強めあって、一方通行ではなく、思いやり労わり合い、お互いが支え合い助け合える生活環境となる社会となることを目指します。当該事業である「食安の集い」を実施することで、健全な社会復帰ができるようになると共に、其々の特色を生かした職業の確保にも繋がることを期待しています。

前述した事業方針に基づく当該事業の主な内容は以下のとおりです。予算の範囲内で年度内に2回の開催を予定します。

- ・レシピの開発（管理栄養士、発達障害専門家・専門医の監修）
 - ・食事会の開催（東京都港区、千葉県松戸市、沖縄県石垣島（賛同地域）
 - ・栄養チェック表の開発（実施前・後）
 - ・レシピ本の出版（準備）
- ・想定されるスケジュール（事業内容について、具体的な取り組みを下記のとおり記載してください）

	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など
4月	レシピ開発（春の膳）	
5月	食事会1	港区もしくは松戸市
6月	レシピ見直しと開発（夏の膳）	
7月	（夏休み）	
8月	食事会のモデル化準備	
9月	レシピ見直しと開発（秋の膳）	
10月	食事会2	港区もしくは松戸市
11月	レシピ見直しと開発（冬の膳）	
12月	食事会3（予備）	石垣島（予備）

1月		
2月		
3月	他地域での食事会試験実施	その他の地域

4. 助成金終了後、どのような活動に取り組むのかを記載してください。

当該事業実施の結果、四季折々のレシピが蓄積されていく予定ですので将来的にレシピ本の出版を計画いたします。食材は地産のものを選ぶようにするため、農園（地域社会）との連携が可能となると思われます（地産地消）。調味料・調理器具についても、製造会社との連携を検討しております。

尚、食事会の実施運用管理の形態をモデル化いたします。これにより、他地域への水平展開（次年度候補地：茨城稲敷市など）が期待されます。

* 候補地域については、なるべく保護者（地域住民）からの要望が多い所や当団体へ理解があり、協力のある地域を選択するものとします。

事業の予算概要

【収入】

(単位：円)

科目		金額	積算内訳
団体	〇〇団体拠出金	¥ 5,000	対象事業費の一部を団体の会計より拠出
	寄付金	¥ 5,000	〇〇様より当団体への寄付金
	自己資金合計額 (a①)	¥ 10,000	
	講座参加料	¥ 4,500	300円*15人
	事業費収入額 (a②)	¥ 4,500	
	〇〇団体拠出金(対象外経費分) (a③)	¥ 8,000	対象外経費を団体会計より拠出
	自己資金、事業費収入合計額 (A) = (a①+a②)+a③	¥ 22,500	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 70,300	
合計額 (C) = (A+B)		¥ 92,800	

【支出】

科目		予算額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 20,000	外部講師謝礼 10,000円×2回
	印刷製本費	¥ 20,000	広報チラシの印刷代 2,000部*10円
	消耗品費	¥ 8,000	チラシ、ポスター用紙 2円*3,500枚 50円*20枚
	使用料	¥ 19,500	会場使用料 6,500円X3時間
	賃借料	¥ 5,000	調理器具 5,000円X1回
	通信費	¥ 4,800	切手代 80円×60人
	保険料	¥ 7,500	行事保険料 500円*15人
	対象経費の合計 (D)	¥ 84,800	
その他経費	運営スタッフ交通費	¥ 8,000	1000円一律 1000円X4人X2
	その他経費の合計 (E) = (a③)	¥ 8,000	
合計額 (F) = (D+E)		¥ 92,800	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (a①) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 自己資金 (a①) 欄が、「対象経費 (D) - 事業費収入額 (a②) - 市民活動助成金 (B)」と同額となること。
- 4 助成金 (B) が、1事業あたり10万円以内であること。
- 5 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。